

【小学校国語】

小学校  
国語

本市の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題(A)

- 「話すこと・聞くこと」の平均正答率
  - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 「書くこと」の平均正答率
  - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 「読むこと」の平均正答率
  - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「言語事項」の平均正答率
  - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

主として「活用」に関する問題(B)

- 「話すこと・聞くこと」の平均正答率
  - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「書くこと」の平均正答率
  - ・ 全国平均とほぼ同程度である。
- 「読むこと」の平均正答率
  - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「言語事項」の平均正答率
  - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

※ いずれの領域においても、記述式の問題における無解答が全国平均より、やや多くなっている。

今回の調査における課題

- 目的や意図に応じて聞き手を引きつけるように話したり、話の中心や話し手の意図をとらえながら聞き、適切に質問したりすること。
- 目的や課題に応じて、意味のつながりを考えながら必要のある事柄を取捨選択し、構成を整えて文や文章を適切に書き換えること。
- 登場人物の行動や場面の移り変わりに注意しながら、物語全体の構成を考えてあらすじを書いたり、優れた叙述をとらえ、思ったことや考えたことを、理由を明確にして書いたりすること。
- 学年別漢字配当表の当該学年の前の学年までに配当されている漢字を正しく書くこと。

改善の方向

- 全体構成や言葉遣いを工夫して話したり、話し手の目的や意図に関心をもって聞き、質問したりする言語活動を通じた指導の充実。
- 相手に伝えたいことを明確に表現するために、文の中での語句の役割や語句相互の関係、文と文とのつながりを理解して書く指導の充実。
- 構成や展開の面白さをとらえる目的をもって様々な本や文章を読む機会を増やすとともに、自分の読書経験や体験と結び付けて読み、感じたことや考えたことを発表し合う言語活動を通じた指導の充実。
- 国語辞典や漢字辞典を積極的に利用して調べたり、漢字の意味を考えながら正しく使おうとしたりする習慣が身に付く指導の充実。

分類	区分	平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
		全国との比較(A)	全国との比較(B)	全国との比較(A)	全国との比較(B)	全国との比較(A)	全国との比較(B)	全国との比較(A)	全国との比較(B)
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
	書くこと	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
	読むこと	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
	言語事項	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
問題形式	選択式	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
	短答式	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
	記述式	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆

△(上回っている) ◆(ほぼ同程度) ▽(下回っている)

※ 「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲内。